



堀田 清 議員

## 広域農道整備事業について

### 質問

本地域は、都市近郊の有利性を生かしつつ、農業生産が行なわれ、近年農産物の産地間競争の激化、流通の広域化、市場の大型化、これに対応した流通体系の整備が必要である。

旧八開、立田、佐屋、弥富、十四山、飛島村、6町村を結び全長28・5km、総事業費81億円、農産物を作付し、計画的に進め、有利販売するため、南北に広がる集団農地を結び生産から集荷までの一貫した農道としての基幹農道整備事

業である。

着工以来10年以上が経過し、社会情勢、経済情勢も変化し、土地改良法に基づいて、工期、事業費、計画路線など、事業計画が見直し、変更された。また、政権交代により、広域農道事業は廃止されたが、現在は道整備交付金により継続事業として実施されている。現在、事業全体と地区別の進捗率は。

### 経済建設部長

全体の事業費、ペースで64%。

佐屋地区56%。八開地区75%。立田地区35%。

### 質問

立田地区、事業の遅れは。

### 経済建設部長

県が路線の形態を確定していない状況。

### 質問

24年度以降の事業計画は。

### 経済建設部長

佐屋地区、県道富島・津島線から市道140号線までと、八開地区は、24年度末で供用開始、立田地区は、森川町地内で用地買収を進めている。

### 質問

24年度末で佐屋、八開地区で事業が終了する。25年度より戸倉町地内に入れないか。

### 経済建設部長

県と十分調整して要望していきたい。



なかなか進まない広域農道（早尾町地区）

### 質問

事業最終計画年度が28年となっている。少しでも早く取り組めないか。

### 経済建設部長

28年度までに完成するよう、強く要望していく。

### 質問

森川町、石田町で路線変更がされた。戸倉町で仮に路線変更になった場合は市で取り組む考えは。

### 市長

いろいろな事情があり今日に至っており、極力、市の金を使わないように努力する。